

ひまわり柳会

日々感謝心にゆとりくれる趣味
 円満な家庭表も 裏もない
 八十年 生きて山菜 取れる幸
 ジグザグの 人生古希で 振り返る
 じっと待て やがて己に 風が吹く
 不器用は 生まれつきだと 諦める
 生意気を 言う成長が 憎めない
 大ぼらを 吹いてる 割に 意気地なし
 やはり年 頑固親父も 円くなる
 粘り腰 円い土俵も 味方する
 ストレスを 女が捨てる 宿の宴
 吹く風を そつとかわして 逆らわず
 円陣を 組んで花見が 盛り上がる
 臓器移植 生まれ変わって いく命
 あくせくと 生きて何かを 置き忘れ
 法螺吹いた 大風呂敷が 畳めない

- 上田 タケミ
- 柳本 勝美
- 芝 智恵子
- 熊本 中心
- 川添 忠昭
- 宮本 ヨリヲ
- 小越 安隆
- 山本 益恵
- 林 久義
- 山本 雅之
- 宇津本 アヤ子
- 渡辺 照子
- 水野 貞子
- 宮脇 マサエ
- 清家 厚美
- 栗木 一郎

広見短歌会

生さへも或はすきび初蛩さまよふ夫の十三回忌
 麦をまく農家のなくて冬の田を渡りくる風つめたく沁みる
 春雪の中を訪ひ来てふぐちりとひれ酒に酔ふ長浜の町
 八重椿咲く庭先は風止みて春の淡雪音もなく降る
 先生のお庭に歌碑がひつそりと建ちをりしとぞ思慕深まりぬ
 雪衣ぬぎてこつそり福寿草顔のぞかせて春を告ぐるも
 降りしきる雪の中より甲高きひよ鳥の声ひびき渡れり
 知る人も少なくなりし古里よ土筆摘みつつ土手道歩む
 列車通る時間となればうら庭に出て認知症の夫を気づかふ
 奮闘してこの土地守りし姑想ふ荒してなるかと鍼ふりあげり
 再発はなきと思いて胃力メヲを折りて何時か夫を待ちをり
 空洞になりたる柿の木それでもなほ芽ぶくいのちのパワーを思ふ
 豌豆の花畝々と満つるを見早く育てよ更に実をなせ

- 武田 幸子
- 越智 坂一
- 須藤 ヒサエ
- 山本 まつゑ
- 蛭谷 寿子
- 松崎 静香
- 松下 啓脩
- 高田 治子
- 渡辺 キヨ子
- 渡辺 八千代
- 伊手 リツエ
- 佐々木 登美子
- 渡辺 憲一



大きくなったら 愛治小学校

お花やさん
3年 西野ちほる

小学校の先生
2年うさぎなつ

将来の夢
6年 渡辺 あかり

わたしの1日のめ
5年 砂田 彩花